

# 令和元年度 社会福祉法人 坂東市社会福祉協議会 事業報告書

令和元年度の坂東市社会福祉協議会事業につきましては、事業計画の基本方針及び重点目標に基づき、次のようなことを念頭におき事業推進に努めてまいりました。

進行を続ける我が国の人口減少、少子高齢社会は、持続可能な社会保障制度の構築、健康で生きがいのある社会づくりなど様々な福祉課題を抱えております。

このような中、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核的位置づけのもと、令和元年度においては第2次地域福祉活動計画（5ヵ年度計画：平成28年度から平成32年度〔令和2年度〕）の4年目として、基本目標の4柱「ひとづくり」「地域・ネットワークづくり」「安心な環境づくり」「社協の基盤強化」を念頭に、地域福祉ネットワーク事業やボランティア活動の環境整備などを継続し、支えあう地域づくりを進めてまいりました。特に、次期第3次地域福祉活動計画策定の準備段階として、令和元年度中に地域福祉活動実践者を中心にアンケート調査を完了できたことは計画的遂行であったと捉えております。

今後も、市民の皆さまと共に行政及び社会福祉関係機関・団体などとの連携をとりながら、多様化する福祉ニーズに対応し、さらなる地域福祉活動の効果的拡充を推進していきます。

## 重点目標の確認

社会福祉協議会は、地域福祉の担い手としての福祉サービスの充実や、住民参加による福祉活動の取り組みを重視する中、時代の要請に応じられるサービスの安定的な提供を行うため、下記の項目を重点目標に掲げ事業推進に努めた。

### 1. 継続強化事業など

持続可能な社会保障制度を堅持するための事業や、次世代育成に寄与するための事業などに着手し社会福祉協議会が中核となり市民中心の事業に取り組んだ。

＝継続強化事業＝

- ①地域福祉ネットワーク事業 ②ふれあいサロン事業 ③フードバンクの取扱い
- ④子ども食堂 ⑤手話教室「入門コース」 ⑥親子ふれあい陶芸教室
- ⑦「福祉に挑戦」学生向けボランティア体験事業 ⑧ボランティア災害対策事業

### 2. 地域福祉活動計画に基づく事業の展開

社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画の重点施策（法人基盤強化・福祉教育協力校推進・ボランティアセンター事業・サロン事業・健康介護予防事業など）を展開し、幅広く市民の皆さまが参画できる福祉活動を推進してきた。

### 3. 関係諸団体などとの連携推進

各行政機関や福祉関係機関・団体などとの緊密な連携を図るとともに、支部長連絡会を中核とした小地域ネットワークづくりとして支部事業のさらなる推進も充実してきた。

### 4. 広報活動及び啓発活動の充実

社会福祉協議会ホームページの運営、社会福祉協議会だよりの定期発行、市広報紙の効果的活用、声の社協だよりの活用、各種事業向けの啓発活動などを実施してきた。